

平成 31 年 1 月 18 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

**租税教育の世代間伝播～親から子へ、高校生から小学生・中学生へ～**

**札幌中法人会（北海道）**

<活動対象> 小学生・中学生・高校生・親（延べ 2,000 名）

<活動の概要>

- ・親や高校生も教育対象とした体験型の租税教育。租税教育を受けた親や高校生が小・中学生に租税教育を行う、世代を跨いだ取組み（世代間伝播）。
- ・身近に税金が使われている動物園と地下歩行空間で、税金にちなんだスタンプラリーや税の使われ方について学べるクイズショーを実施。クイズショーでは高校生がプレゼンターとしてイベントを盛り上げる。
- ・楽しく印象に残ることを意識し、今後の家庭での教育や高校生の活動につながるようなイベントを志向。

<参考資料>

札幌中法人会 配布資料「バトンを、つなぐ。～租税教育の世代間伝播～」より抜粋

<摘要>

特になし

<出典>

平成 30 年度租税教育活動プレゼンテーション（岐阜大会）より

# 租税教育の世代間伝播

## 親から子へ



親子で一緒に「税」に触れ、「税」を学ぶ



親子の共通話題として「税」が定着  
家庭での反復継続学習

- ・親子が**気軽に学習**を行える環境
- ・実際に税金が使われている**市の施設**
- ・市の施設のため、**会場費・設備費は無料**

多くの親子連れが気軽に学習を行える環境として、実際に税金が使われている、札幌市の動物園や歩行空間でイベントを開催しました。

市の施設のため、会場費などは無料で行うことができました。



### イベント後の保護者の感想

「消費税くらいは子どもも知っていたかと思うんですけど、学校や動物園に税金が使われているという認識はなかったと思うので、今日をきっかけに子どもたちにも税金について関心を持ってもらえたらと思うし、そういう税金の話もたまに家でしていけたらと思っています。」

# 租税教育の世代間伝播

## 会員から高校生へ 高校生から小・中学生へ

### 租税教育プログラム

- ・市立札幌大通高校のカリキュラム
- ・高校生が小学生に**税金**について教えることが目的



### 租税教育イベントでの体験



### 「租税教室」につなげるため学習



市立札幌大通高校のカリキュラムの一貫として「租税教育プログラム」を発足し、イベントではiPadを使用した税金クイズで高校生が小学生に租税教育を行いました。

事前に会員から税金の教育を受けた高校生は、学んだことをどうすればわかりやすく小学生へ伝えられるか、練習を何度も繰り返しました。

彼らは租税教育イベントでの体験を最終的な目標である「租税教室」につなげるため、どうすれば小学生が楽しく学習できる「租税教室」ができるか、高校生ならではの視点で意見を出し合い学習を続けています。



# 租税教育の世代間伝播

## 伝播の効果を測定・検証



### スタンプラリー

軽度のパネル教育

一瞬

「納税しない」多数



### iPadクイズ

パネル説明を合わせた  
対面教育

約10分

「納税しない」ゼロ!



### クイズショー

一連の流れを学ぶ  
集中教育

約30分

「納税しない」ゼロ!

私達は、どうすればより良い租税教育が行えるか、学習時間が異なる3種類の学習方法を取り入れ、租税教育活動の効果測定を実施しました。



ZEIコインやZEIシールをどのように使ったら良いか、学習後子供たちが自ら考え、投票した結果で、学習の定着率を確認することができました。

一瞬の学習のみでは、「納税しない」が圧倒的に多かったものの、子供と対話をし、楽しみながら学習をした場合、「納税しない」こどもはゼロ! しっかりと自分で税金の使い道を考えることができました。

### 伝播の効果を測定・検証



検証結果を「**租税教室**」に取り入れ、  
楽しみながら興味を持って学習ができる、  
児童との対話を意識した「**租税教室**」。

この検証結果を租税教室にも取り入れ、楽しみながら、興味をもって学習ができる、児童との対話を意識した租税教室につなげることができました。



# 地域社会や関連団体との つながりや反響

私たちの活動はたくさんのメディアでも取り上げられ、関連団体や地域社会からも多くの反響がありました。

私たちは「親から子へ」そして「会員から高校生、高校生から小中学生へ」租税教育の世代間伝播を行い、その「伝播の効果を測定・検証」することで、次の世代にバトンをつなぐことができたのです。

## 大通高校 西野教諭の声



市立札幌大通高校  
西野 功泰 教諭

私も学校で指導し、ずっと長いスパンでこのプログラムを広げて行こうと思っています。

「法人会の方たちのおかげで、租税教育プログラムを立ち上げることができました。この租税教育プログラムによって生徒が日々成長していくことを感じました。

租税教育を次の世代に伝播するという活動の一翼を担っていけるよう私も学校で指導し、ずっと長いスパンでこのプログラムを広げていこうと思っています。」

## 札幌中税務署長の声



札幌中税務署  
高瀬 和也 署長

私たち税務行政側も一緒に広げていきたいと考えています。

「これまでの札幌中法人会青年部の一連の活動を見ていると、一過性のイベントという訳ではなく、租税教育の『伝播をする』しくみを作るといって、大変戦略的で面白い素晴らしい企画だと思います。

積極的に広報にも協力をさせていただきました。私たち税務行政側も一緒に広げていきたいと考えています。」

## 備考資料

租税教育イベントで使用した、会員手作りの制作物の一例です。

開催イベント告知チラシ



スタンプラリー用紙



ZEIコイン



iPadクイズ画面一例

